

平成 2 6 年 第 1 2 回

印西市教育委員会定例会会議録

平成 2 6 年 1 2 月 1 7 日 (水)

平成26年第12回印西市教育委員会定例会会議録

日時：12月17日(水)午後2時00分

場所：印西市役所4階41会議室

1. 開 会
2. 開 議
3. 議事日程の報告
(議事日程)

日程第 1 委員長が指名する会議録署名委員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 教育長報告

日程第 4 報告第1号

臨時代理の報告について(学校給食費請求事件に係る訴えの提起)

日程第 5 議案第1号

平成26年度教育委員会の点検・評価について

日程第 6 その他

4. 閉 議
5. 閉 会

出席委員(5名)

1	番	委 員	大 野	忠 寄
2	番	委 員	青 山	光 男
3	番	委 員	寺 田	充 良
4	番	委員長	佐 藤	めぐみ
5	番	教育長	大 木	弘

欠席委員(なし)

説明のため出席した職員(6名)

教 育 部 長	高 島	一 郎
教 育 部 参 事 (教育総務課長事務取扱)	山 崎	剛
学 務 課 長	井 上	愛 一 郎
指 導 課 長	内 田	圭 子
生 涯 学 習 課 長	湯 浅	静 夫
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	渡 邊	文 秀

職務のため出席した職員(3名)

教 育 総 務 課	鈴 木 悦 子
総 務 班 主 幹	
教 育 総 務 課	安 西 浩 紀
総 務 班 主 査	
教 育 総 務 課	櫻 井 治
総 務 班 主 査 補	

(14時30分)

(開会の宣告)

佐藤委員長

それではただいまから、平成26年第12回印西市教育委員会定例会を開会いたします。

(開議の宣告)

佐藤委員長

これから本日の会議を開きます。

(議事日程の報告)

佐藤委員長

本日の議事日程については、お手元にお配りしたとおりです。ご了承願います。

(会議録署名委員の指名)

佐藤委員長

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、会議規則第31条の規定により、3番寺田委員を指名いたします。お願いいたします。

(会期の決定)

佐藤委員長

日程第2 会期の決定を行います。

本定例会の会期は、会議規則第4条の規定により、本日1日とします。

(教育長報告)

佐藤委員長

日程第3 教育長報告を行います。

大木教育長。

教 育 長

それでは、教育委員会活動報告を資料に基づいて申し上げます。

11月14日金曜日、北総教育事務所所長訪問が、船穂中、船穂小学校でございました。同日、第3回印教連定例常任委員会が、佐倉市で開催されました。同じく第3回印旛地区教育長会議が、引き続き佐倉市で開催されました。

15日土曜日、小林公民館コミュニティまつりが、16日までの予定で開催されました。

16日日曜日、市民文化祭・ダンスフェスティバルが、文化ホールで開催されました。

18日火曜日、第7回市教頭会議が教育センターで開催されました。

19日、北総教育事務所所長訪問が滝野中ではごいまして出席してまいりました。

21日金曜日、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会指定、社会科・生活科公開研究会が、宗像小学校で開催されました。

22日土曜日、市PTA連絡協議会運営研修会・講演会が、本埜公民館

で行われました。

25日火曜日、印西警察署管内犯罪被害者支援連絡協議会総会が、印西警察署で開催され、出席してまいりました。

27日木曜日、第9回印西小学校駅伝競走大会が松山下公園陸上競技場で開催されました。同日、第4回市議会定例会が12月18日までの会期で開会されました。

28日金曜日、社会教育委員会議が市役所で開催されました。

29日土曜日、印西・ワールドレコードキャンプス陸上教室が、松山下公園陸上競技場で開催されました。同日、第27回中央駅前地域交流館まつりが、30日までの予定で行われました。

12月に入りまして5日金曜日、市民荣誉賞・教育文化功労表彰表彰式が市役所でとり行われました。

6日土曜日、市スポーツ少年団交流会が松山下公園総合体育館で行われました。

7日日曜日、第84回印旛郡市駅伝競走大会が佐倉市ほかで開催されました。

9日火曜日、第5回市校長会議が船穂中学校で開催されました。

10日水曜日、通学区域審議会が市役所で開催されました。

11日木曜日、小学校芸術鑑賞教室が、文化ホールで午前、午後とに分かれて開催されました。

17日水曜日、第12回教育委員会定例会が現在行われております。

行事予定でございます。

1月9日、教育長人事異動面接を市役所で予定しております。同日、教職員のミドルリーダー研修会が、松山下公園総合体育館で開催されます。

10日土曜日、印西市の消防出初め式が松山下公園総合体育館で行われます。

11日日曜日、平成27年印西市成人記念式典が松山下公園総合体育館で開催されます。

13日火曜日、第6回市校長会議が船穂小学校で開催されます。

14日水曜日、平成26年度印教連教育功労者表彰選考会議が白井市で開催されます。

15日木曜日、第1回教育委員会定例会が予定されております。

以上でございます。

佐藤委員長

ただいまの報告について、質疑はありませんか。

青山委員。

青山委員

1つだけちょっと。私は以前、ミドルリーダー研修会というものを見ているかもしれないんですが、これはどういう研修会なんでしょうか。

佐藤委員長

教育長。

教育長

今年度から校長会のほうで主催して、各学校にいる中堅教員に対する

研修ということで、次期リーダーの育成の一環で計画されたものでございます。

佐藤委員長
青山委員
佐藤委員長
教育長
佐藤委員長
青山委員
佐藤委員長
各委員
佐藤委員長
(会議の非公開)
佐藤委員長

青山委員。
管理職養成の研修会という形ではないのでしょうか。
教育長。
管理職養成ということだけではございません。
青山委員。
わかりました。
ほかに質問はありませんか。
なし
これで、日程第3 教育長報告を終わります。

日程第4 報告第1号については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項及び第7項、並びに印西市教育委員会会議規則第12条第1項の規定により、会議を非公開といたしますが、ご異議ございませんか。

各委員
佐藤委員長

異議なし
異議なしと認めます。
それでは、これより会議を非公開といたします。

[非公開により省略]

佐藤委員長
(議案第1号)
佐藤委員長

以上で、会議の非公開を終了いたします。

日程第5 議案第1号 平成26年度教育委員会の点検・評価についてを議題とします。

教育総務課長

提案理由の説明を求めます。
教育総務課長。

議案第1号 平成26年度教育委員会の点検・評価について。
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に規定する報告書を別紙のとおり作成し、同項の規定によりこれを議会に提出し、公表する。

平成26年12月17日提出。

印西市教育委員会教育長、大木弘。

それでは、議案第1号についてご説明させていただきます。

お手元にお配りしております教育委員会の点検・評価報告書をご覧いただきたいと思いますが、まず教育委員会に関する事務の点検・評価等に関しましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により実施するものでございます。この規定でございますが、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検

及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。これに基づきご審議をいただくものでございます。

それでは、報告書の概要を説明させていただきます。

まず2ページをお願いいたします。こちらには点検・評価につきましては、平成25年度に実施した教育施策、11の施策と41の事業を対象として行い、点検・評価に当たりましては事業ごとにA、B、Cの3段階で評価し、評価理由と今後の方向性を示すことにしております。これまで、2ページの下段に示してございますけれども、点検・評価につきましては、担当課による点検・評価、そして部長、教育長による評価を行い、また、それぞれの分野において学識経験者からご意見をいただいているところでございます。これらを踏まえまして最終評価を、教育委員会会議において教育委員の皆様にしていただくというものでございます。

9ページから29ページでございますが、41の評価対象事業につきまして点検・評価の結果を記載させていただいております。それから31ページから40ページにかけては、点検・評価に関するまとめと学識経験者の皆様方からいただきましたご意見を記載してございます。評価につきましては、41事業中40事業がB評価、1事業がA評価という結果でございます。学識経験者の皆様からのご意見につきましては記載されているとおりでございます。

評価書の概要につきましては以上でございます。

なお、今後の予定でございますけれども、本日の報告書につきまして議決をいただきましたら、明日でございますが、12月の市議会最終日に提出させていただきまして、その後、市のホームページに掲載させていただく予定でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

佐藤委員長

ご多忙の中、教育委員会の点検・評価報告書を取りまとめくださりましてありがとうございます。

質疑につきましてですが、1つ目、学校教育について、2つ目、生涯学習、生涯スポーツについて、そして3つ目、文化についてということで、まとめながら質疑をいただきたいと思っております。

初めに、資料ですと18ページまでの学校教育につきまして質疑がありましたらお願いいたします。

寺田委員。

寺田委員

指導課のほうのページ12なんですけれども、健やかな体を育む教育の推進とありますけれども、その2の運動部活動の充実に関して質問します。

今年度、市内の中学校、印西中学校ですが、野球部が県大会、関東大会、全国大会と勝ち進まれたことは、まことに喜ばしいと思っております。

す。しかし、この試合に出場の際に経費の捻出に苦慮したように聞き及んでおります。応援も含め急遽寄附金を集めた、それに奔走された方々、父母会が中心ですが、時間の制約があったために大変苦労したということをお伺っております。今回たまたま歴史ある印西中学校でOBや地元有志が多くおられたために、また、初めて全国大会出場ということですので何とかできたのでしょうか、今後このような祝い事が起きたときにどうすればよいか、各学校で考えておくべきだと思います。

子供たちや先生方がスポーツや芸術で全国的に活躍することは、我が市において、また、教育界においても素晴らしいことだと思いますが、教育委員会としては、今後、市当局とよく相談しておくべきではないかと思ひ、質問いたします。

佐藤委員長
指導課長

指導課長、お願いいたします。

それでは、お答えいたします。

中学校の部活動に対して印西市中学校部活動補助金交付要綱というものがございまして、その要綱により各種大会に要する交通費、宿泊費、参加費について、対象経費の2分の1の額で1部活動当たり4万円を上限とする金額が、全部活に補助されております。また、関東大会や全国大会に参加する場合は、当該生徒の交通費及び参加費の全額、1万円を上限とする宿泊費を別に補助しております。今年度、印西中学校野球部が、四国香川県で行われた全国大会に出場し、市からは114万4,800円の補助金をいただきました。また、新人チームが秋の関東大会に出場し、市のほうから40万362円の補助金をいただきました。

来年度の全国大会は野球につきましては福島県で開催されますが、このたび市に大変なお心遣いをいただき、できる限りの応援・支援をさせていただいたところがございますが、今後につきましても同じように、市にお願いしながら支援に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

佐藤委員長
寺田委員
佐藤委員長

寺田委員。

ありがとうございます。

ほかに質疑はありませんか。

大野委員。

大野委員

11ページの食育の推進ということで3点ほど挙げさせていただきました。

①に、食に関する指導の推進における印西市食育ミニマムの内容をお聞かせいただきたい。これが1つです。

それから、栄養指導教室の実施についてですが、栄養学的に、栄養イコール熱量を、カロリーですね、栄養で示すのではなく、素材の持つビタミン、ミネラル等の栄養素が大切なので、栄養士側の栄養学、医学（西洋、東洋、自然、代替）の新しい知識と、加工食品、素材等の添加物、保存料、調味料等が体内に及ぼす影響をどのくらい熟知していらっ

佐藤委員長
指導課長

しゃるのかという点です。そちらで栄養士が栄養をどのように指導しておるのかという点です。

それから②番ですが、学校給食の充実についてということで、一部で乳製品の問題が取り沙汰されている部分がありますので、そちらもどのように考えているかを教えていただければと、こんなふうに思います。よろしく願いいたします。

指導課長。

それでは、3点につきましてお答えいたします。

まず1番目、印西市食育ミニマムについてでございますが、お手元に資料は配付してございますが、食育ミニマムというのは、食に関する指導に当たって最低限身につけさせたい事柄について、各学校ごとに何をどのように指導するかというポイントを整理し、まとめたものでございます。

印西市では、昨年度まで小学校1年、3年で楽しい食事、野菜のパワーを題材とした栄養教室、5年と中学2年でバランスのよい食事、それから生活習慣病の予防について学習しておりますが、小学校2年、4年、6年についても学年に応じた学習内容を示し、各学校でつくられている食育の全体計画に反映していただく目的で作成しております。ということで、食育ミニマムの表の中から学校のほうが要点を絞って計画づくりに生かす、そのもととなるものでございます。

次に、栄養教室でございますが、栄養士の知識につきましては、栄養学の内容は基本的には西洋医学をベースにしておりますが、食物アレルギーの問題も含めて、研修会や書籍等を利用してただいま研修に努めておるところでございます。今後とも委員さんのご意見等もお伺いしながら、最新の知識を得て、給食の献立や栄養指導に生かすようにしてまいりたいと思います。ご指導よろしく願いいたします。

3点目の乳製品の問題についてでございますが、最近では乳製品に関する話題の一つとして、スウェーデンの乳製品の摂取量が多いほうが、死亡や骨折のリスクが高くなったという研究結果も報道されているところでございます。一方で、日本人が不足している栄養素の第1位がカルシウムでございます。乳製品は最も効率よくカルシウムを摂取できるため、給食で牛乳の提供を続けている状況でございます。

しかし、とり過ぎや偏りは、いかなる食品でも健康を害することにつながります。牛乳のよい面ばかりを強調せず、1日に摂取する適量を目安や正しい知識を子供たちに伝えていくことが、大事になってくると考えております。児童・生徒の1日のカルシウム摂取量400から600ミリグラムのうち、乳製品でその半分までが適量と言われております。牛乳で言えば400ccぐらいまでが適量と言われております。それ以上だとマグネシウム等とのバランスが崩れ、かえって健康を害するというようなことで認識させていただいております。よろしく願いいたします。

佐藤委員長
大野委員
佐藤委員長

以上です。

大野委員。

わかりました。

ほかに質疑はありませんか。

それでは、司会のほうから失礼いたします。

一昨年度の教育施策と今回いただきました教育施策を、比較させていただきながら拝見いたしました。また、一昨年度の施策を挙げていただいたものをさらに簡潔に書いていただき、わかりやすくなっていると思いました。また、実績内容も具体的に説明していただき、わかりやすい表記となっています。学校教育における施策や事業も細やかに計画・実行し、今後とも円滑に進めていっていただきたいと思い、ありがたく感じました。

感想ですけれども4点、それから質問を1点させていただきたいと思います。

11ページの2番で学校図書館司書、今度これが、全小学校への派遣日数が一昨年度よりもさらに日数が増加し、それぞれの小・中学校の図書室の環境整備も非常に整っていると現場の声も聞こえてきます。図書活動がさらに充実していくことを期待しております。

2つ目、感想ですが、人権教育の推進に向けてより細やかな事業が展開され、アンケートによるいじめ防止のための取り組みが積極的に推進されていたと思います。

3点目、郷土愛を育む教育の推進においては、教育センターがホームページで紹介してくださっており、また、副読本による郷土の偉人や歴史に関する学習を推進し、実際に娘の子供の授業参観で、もしくは研修で参加させていただき、大変意義深い授業を展開していただいているなと思いました。

4点目、適応指導教室についてですけれども、今日さまざまな悩みを抱え適応が厳しくなっている生徒がふえてくる中、適応指導教室への通室者は減少しているということ、さらに解消率というのでしょうか、励ましていただきながらまた学校に戻れるという生徒がふえているということは、大変ありがたいことで、集団生活で困難を抱えている生徒というのは、この時代ますますふえてくると思いますけれども、これからも早期の対応と家庭、学校との連携をお願いできたらと思います。

質問なんですけれども、昨年資料と対比させていただきました、16ページの(6)番、学校・幼稚園施設の充実というところですが、一昨年にはこの事業内容が5点ありました。今年度は、丸々同じ内容なのにもかかわらず3点目、一昨年にあった学校施設の有効活用という部分が丸々抜けているのですが、事業内容によっては、多少整理していただいて表記を変えたり枠を変えたりしていただいているように思いましたけれども、この学校施設の有効活用についてはどうしてなくなったの

か、お伺いできればと思いました。

教育総務課長。

教育総務課長

ご指摘の学校施設の有効利用については、余裕教室を地域等において有効に活用しているものという意味合いで設けていたものと思われま
す。余裕教室は、文部科学省では将来とも恒久的に余裕となると見込ま
れる普通教室と定義しておりますので、このような意味で活用している
教室はないということで整理させていただいたものでございます。

佐藤委員長

ありがとうございました。

ほかに指導課関係でご質疑はございませんか。

青山委員。

青山委員

私からは感想を述べさせていただきたいと思うんですが、13ページの
豊かな心を育む教育の推進の中の芸術文化体験事業につきまして、さわ
やかハートフルコンサート、参加させていただきました。大変担当の方
が熱心に企画、また運営等されておりまして、特に子供たちが自分たち
の合唱の発表の機会を得るということ、ホールで発表できますので、そ
ういう貴重な体験にもなっておりますし、また、他校の発表を非常に熱
心に子供たちが視聴しておりますので、大変いい事業だなというふうに
思っております。いろいろな苦労があるかと思えますけれども、ぜひ
継続していただきたいと思います。

それともう一つ、会場が非常に座席が少ないので、残念なことなん
ですけども、恐らく保護者の方もたくさん子供たちの発表を、ぜひホ
ールで視聴したいというふうにしておられるんじゃないかなと思ってお
りまして、恐らく体育館等で各学校で保護者の方には披露されているん
だろうと思えますけれども、せっかくのホールがありますし、子供たち
も熱心に、先生方も一生懸命指導していただいた上ですばらしい発表が
できておりますので、ぜひそういう機会が持てたらいいというのが希
望であります。

それから小学校芸術鑑賞教室につきましても、私も参加、鑑賞させて
いただきました。私が鑑賞したのは古典芸能の中の狂言と落語でしたけ
れども、非常に私自身も恥ずかしながら、落語等はよく聞いております
けれども、狂言というのはなかなか接する機会がございまして、山本
流の方が説明してくださったんですけども、狂言というのは、人間の
愚かさを200ほど、その演目の中にあるんだということでありました
り、それが一つの特徴だと。それから2つ目の特徴は、せりふとしぐさ
であらわしているところなんだということと、伝統ということで3番目
の特徴としては、600年以上も世襲で引き継いできているというふうな
お話を伺って、その奥深さと、そして子供たちも言葉は非常にわかりづ
らい言葉かと思ったんですが、非常に笑いも出ておりまして、十分通
じるものだなど。古典芸能とはいえ十分子供たちが理解できるものだ
ということと、想像力を働かせる、舞台装置というのはほとんどありませ

んで、おけのようなものが1つあって、それを木に見立てたりとか、または物が入っている器に見立てたりということで、非常に子供たちの想像力をたくましくする上でも、または日本の伝統文化を理解する上でも、大変すばらしい鑑賞教室ではないかなというふうに思いました。

お金もかかることではありますけれども、子供たちにとっては一生、そういう6年生のときに日本のすばらしい伝統芸能に触れるすばらしい教室ですので、お金はかかるとは思いますが、ぜひ続けていただきたいと思いますということをおもいました。本当にありがとうございます。よろしくお願ひします。

以上です。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

これで学校教育についての質疑を終わりにしたいと思います。

続きまして、生涯学習、生涯スポーツでございますが、初め、生涯学習についての質疑をいただきたいと思ひます。質疑はありますか。資料ですと20ページから26ページ。

青山委員。

青山委員

これも質問通告をせずにお話しさせていただいて大変申しわけありません。

感想になるかと思ひますけれども、私は市の文化祭の最終日に行われましたダンスフェスティバルというのを鑑賞させていただきました、1つフラダンスですとか、それからヒップホップというんですか、いろいろなダンスがございまして、あと老若男女、非常に幅広い方がダンスを披露してくださったんです。ホールがいっぱいになっておりまして、たくさんの方が会場にお見えになっておりまして、年配の方が生き生きとダンスをなさって非常に魅力的だったと思ひます。

こういった文化祭の中でそういう方々が、目標を持ってそういう発表を楽しんでいらっしゃる。しかもそれはきっと生きがいにも通じているのではないかなというふうに、見ていて感じまして、非常にすばらしい会場を提供してくださっているし、機会を提供してくださっているなどということをつくづく感じました。中には車椅子で鑑賞されている方もおりましたので、きっとご家族で応援にいらっしやっていたのかなというふうに思ひまして、市民が健康に、しかも生きがいを持って生活をしていく上で非常に大事な行事になっているんじゃないかなということをおもいました。

そして、私自身も初めてそういうダンスフェスティバルを見せていただいたんですけれども、目標を持ったり生きがいを持っているということは、老若男女にかかわらず、非常に輝いて生き生きとされているというようなことですので、ぜひこういう機会はしっかり確保していただきたいと思いますということと、できましたらそういう機会をもっとふやしていただけないかなということをおもいました。

何かこのダンスフェスティバルをスタートさせた方も、教育委員会と連携しながらつくり上げてこられたということ、その場でお話しされていましたが、特に小学生ぐらいのお子さんが非常に巧みにダンスをされる様子を見まして、ああ、時代もこういうふうにして、こういう若い人から年配の方までそういう文化をつくり上げていっているんだなど、地道な積み重ねがそういう成果としてあらわれているということをつくづく感じました。非常にすばらしいダンスだったと思います。

ですから、そういう場をしっかりと提供して下さっているということに、大変ありがたいなという気持ちを抱きましたので、本当にぜひ続けていていただきたいなということをお願いしたいと思えます。本当にありがとうございます。

以上です。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

それでは、司会のほうから。

先ほど申し上げましたけれども、一昨年度の教育施策をまとめたものと対比させて拝見いたしました。それぞれの課で表記をいろいろご苦労され、おまとめいただいておりますけれども、特に生涯学習の事業については、大きく項目の表記が変わっており、評価しやすいように整理されて細やかに書かれているように思いました。以前いただきましたブルーの生涯学習ガイドについては、すばらしくよくできた冊子だと思いました。新しく入ってくる方々が多い地域で、不安を抱えていらっしゃる特にお年寄りの方々が、このような生涯学習ガイドがあることによって印西市に早くなじんでいただき、いろいろここで頑張っていこうという夢や希望を抱けるような、大変わかりやすく興味が湧く資料であったと思います。

また、歴史がつくられてきた市民アカデミーですけれども、年々充実してきており、特に高齢の方々が明るく楽しく活動できるようになってきたと、近所の方々、喜びの声が届いております。ここで生涯学習、市民アカデミーでショートテニスを紹介していただいて、初めてやったらすごく楽しかったので、ぜひこのクラブに入れてほしいということで、私がやっているクラブに65歳ぐらいの方が4人入っていらっしゃいましたが、その方々のお話ですと、本当に市民アカデミーがとても楽しい、特に卒論が最初は嫌だなど思ったけれども、本当にそれでいろいろな地域がわかり、また、取り組んでいるアカデミーの仲間の、すごく仲間ができて、ここに来ることが物すごく人生の張りが出てきたというふうにおっしゃっていただきました。ありがとうございます。

続きまして、スポーツ振興課のほうに行かせていただいてよろしいでしょうか。

生涯スポーツについて質疑はございませんか。

すみません、また司会のほうから申しわけございません。

ただいまの教育委員会の点検・評価という議題からは離れるかとは思いますが、来年度からの施設利用の改善として検討いただければと思います。意見を述べさせていただこうと思います。

学校関係や市のスポーツ行事利用団体等で、市のスポーツの施設が、一昨年よりも、また今年度になると利用状況が非常にふえてきているという資料をいただきました。前にご説明がありました。大変喜ばしいことであると思います。いろいろな大会、今回はインターハイや、それから世界大会等も行われましたけれども、大変充実した市施設であるということ、県内外にもアピールもでき、たくさんのご好評をいただいているところではあります。

ただ、それらの団体が使用されていない空白のというか、使われていないところの利用等もできれば、稼働率であるとか、市民にとってまたなじみやすい施設になっていければなという願いを持ちます。例えば家族であるとか小グループが、ぶらっと来て、例えば卓球、例えばバドミントン、例えばダンスとか、そういうようなことを多目的に利用できるような場所が体育館であるとかそういう場所にあり、これがオープンに開放できたら将来的にはいいのではないかなと思いました。使用されていないというのは、今の段階ではホームページなどでわかるところもあるんですけども、例えば武道場の畳がないほうの部分に、例えば卓球台を常備、置いておくとか、そういうような利用があってもいいのではと思いました。

というのは、実はお年寄りのお友達、たまたまお友達になった方、余りにもお元気で、すてきですねとお話をしたら、卓球をやっていると。どこで卓球をやっているか聞いたら、鎌ヶ谷に行ってやっているという方と八千代に行ってやっているという方がいらっしゃったので、印西にすばらしい施設があるのにどうして使わないのということをお話ししたら、もちろん印西にすばらしい施設があるというのはわかっていると。実際にやったこともある。ただ、私たちお年寄り、非常に卓球というのはあの世代に、そんなにハードでなくても少し体を動かすということととてもいいスポーツなのではありますが、道具の出し入れに非常に負担があると。2時間とかで小アリーナとかを使ったとしても、卓球台を出し、ネットを張り、球が転がっていかないような網を張ったりというような、その時間の出し入れだけで20分、60とか70の方がやるので、場合によっては30分ぐらいかかってしまうと。2時間借りたとしても出すのに30分、しまうのに30分、正味1時間しかやれなくなってしまう。

ところが、印西市でない近隣の施設で卓球台が常備されている施設があり、そこには3台置かれているので、同じようなほとんど変わらない料金で、行ったらすぐに、これは1人例えば300円とか、市外は300円、市内は200円というのが大体多いらしいんですけども、そのような、ほとんど同じような金額だけれども、行ったらすぐにできるという施設

があるので、その方々は印西市の施設を通り越してそちらの施設に行っているというお話を聞いて、申しわけないなという気持ちと残念だなという気持ちを持ちました。

これからの検討事項で、実際に動いていただいたらいろいろな諸問題が出てくると思いますけれども、常時卓球台が三、四台ぐらい置いてあるような施設とかスペースなり、もちろんそれは行事のほうを優先として、行事で使われていない部分のときにそういうような部分があって、広く市民に開放できる身近な施設になっていただければなという願いを持ちました。今後ご検討いただければと思います。

スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長

総合体育館のお話かと思いますが、確かに小グループでご利用いただけるのはとても有意義だと考えます。ただ、夜間、土日の施設の利用割合の数字は非常に高いものがございます。ご承知とは思いますが、アリーナは全ての部屋が有料で事前予約があるんですが、利用されていない場合に限っては個人利用もでき、思い思いのスポーツができるようになっております。現状としましては、抽選予約であるとか団体利用とか、非常に申し込みが多いものでございますので、使用されない日を特定して市民にタイムリーにお知らせすることは、非常に今のところ難しいのかなと。

また、卓球の道具を常設するという点についても、少なくとも今、現状としては用具の出し入れはルールとしてお願いしておりますけれども、現状では部屋を確保するというのは、利用状況からいって難しいのではないかなというふうに考えておりますので、ご理解いただければと思います。

佐藤委員長

課長のおっしゃることも大変わかりますし、もったもであると思います。また、たまたまお話をお伺いした方々のお気持ちも、とても理解できる場所であるなと思いました。

例えばお年寄りの方々が8人ぐらいで小アリーナを借りようねとしたときに、お年寄りの方々ですので、当日ぐあいが悪い、何だろうというふうになり、8人ぐらいで借りようとしたのが、結局ふたをあけてみたら4人になってしまったと。そうなってくると、1人当たりの料金とか負担もかなりかかってしまう。ところが、他市町村は、個人の1人300円とかというそういう貸借ができるということなので、どうしてもそちらに流れていってしまうというような感想をいただきました。また、すぐというわけではなく、今後ぜひいろいろな他市町村の様子も聞きながら前向きにご検討いただけたらなというお願いです。

スポーツ振興課長

はい。

佐藤委員長

それでは、27ページからの文化の件につきまして、質疑ございませんでしょうか。

青山委員。

青山委員

ここで話しすべきかどうかちょっとわからないんですけども、文化ホールの使用についてですけども、特に子供たちが活動してそれを発表するときには、必ず保護者の方がついてこられるんです。例えば合唱などもそうなんですけど、ただ、これは部会の行事になっていますので難しい部分があると思うんですが、子供たちが例えば合唱の発表をするような機会があったときに、市民の方も合唱のクラブたくさんありまして、市民の方の合唱は、私は非常にレベルが高いなというふうに感じているんです。ですから子供たちが、例えば、これは部会の行事ということであると、また担当の方との連携ということがどうしても必要になる部分があるわけですけども、せっかく子供たちが発表していると。講師の方がご指導してくださるんですけども、一番の子供たちにとって大きな指導というのは、模範となる合唱を聞くことだろうと思うんです。当然他校の発表を聞いて得るところもたくさんあるわけなんですけれども、私は市民の方のすばらしい合唱を、1団体でも結構ですから、そういう折に出ていただくと。非常に負担も大きいかもしれませんが、また、担当の方との連携というのが難しい部分があるかと思いますが、非常にいい交流の機会にもなりますし、また、子供たちにとってはいい刺激をいただけるんじゃないかなと、また、市民グループの方もきっと発表の機会を求めていらっしゃると思うんです。なかなか発表することは大変なことなので、そう簡単にはいかないのかもしれませんが、そういった子供たちが発表しているときに、一般の方の合唱とタイアップしていただくというようなことができたらすばらしいんじゃないかなということを、すごく感じました。

なかなか言うは易く行うは難しなんですけれども、せっかくのすばらしいホールですので、観客を動員する上で子供たちというのは大きなヒントになるのではないかなと。また、市民グループの方の発表というのは、家族単位で皆さん応援にいらっしやって、かなりの数がいらっしやっていましたので、それも一つのヒントではないかなというふうに感じましたので、ぜひご検討いただければ子供たちのためになるんじゃないかなと、ちょっと思いましたので。

佐藤委員長
生涯学習課長

生涯学習課長。

今現在、合唱を通じてということで私どもも市民の皆様とやっている中で、少年少女合唱団という形で参加していただいている、今の委員のお話というのは、指導課のほうでやっております事業との兼ね合いもございまして、そういう部分も踏まえながら、指導課ともお話をさせていただきながら、団体のほうとも相談させていただくような形でいきたいと思っております。

佐藤委員長
青山委員

青山委員。

芸術鑑賞教室などはお子さんだけでなく、無理だろうとは思いつつも発言させていただいているんですけども、非常に人数に制約が

ありますので、いっぱい子供たちがいるところで大人の方は無理かもしれませんが、あの芸術鑑賞教室だったら大人の方でも十分鑑賞にたえる内容ですし、参考に、非常に勉強になる内容ですから、大人の方に向けてやっていただいてもいいぐらいの内容だったと思いますので、それはまたちょっと他の部署との連携も必要かもしれませんが、そんなことを感じました。何かすばらしいのにもったいないなという、もっとたくさんの人に見ていただきたいものになるというふうに思いました。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

寺田委員。

寺田委員

昨年と違って、ことしの文化祭は期間が少し長くなったように思うんですけども、その結果はどんな評価の中身ですか。昨年よりよくできたとか、ここがちょっとおかしいとか、何かありましたら。

佐藤委員長

生涯学習課長。

生涯学習課長

今回、文化ホールを主会場として開催しましたので、期間が1カ月ちょっとというふうになりました。この中での開催においては、実施している方々と、見に来ていただいている方々の中でいろいろご意見をいただいておりますので、それを参考にさせていただいて来年につなげていくようなということで、一般的なお客様からは、新たな試みを入れてみましたのでよかったというお話をいただいておりますので、こちら辺も参考にさせていただければと思っております。

佐藤委員長

ほかに質疑はありませんか。

各委員

なし

佐藤委員長

これで質疑を終わります。

議案第1号 平成26年度教育委員会の点検・評価についてを採決いたします。

お諮りいたします。

議案第1号 平成26年度教育委員会の点検・評価については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし

佐藤委員長

異議なしと認めます。

したがって、日程第5 議案第1号 平成26年度教育委員会の点検・評価については、原案のとおり可決されました。

(その他)

佐藤委員長

日程第6 その他について何かございますでしょうか。

指導課長。

指導課長

それでは、指導課から、第9回印西小学校駅伝競走大会の結果についてご報告いたします。

お手元に資料があるかと思いますが、女子の部は32チームが参加し、昨年度まで4連覇を達成した高花小にかわって西の原小学校が初めて優勝いたしました。2位は小倉台小学校となりました。男子の部では35チ

ームが参加し、大森小が初優勝を飾りました。2位は滝野小でございました。区間記録でも、男子の2区と5区で新記録が出るなど、タイムとしてもすばらしい内容となりました。過去3回におけるタイムが大きく伸びた男子本塾第一小学校Aチーム、女子六合小学校Aチームに敢闘賞が贈られました。応援ありがとうございました。

以上でございます。

佐藤委員長

ほかにその他ございますでしょうか。

スポーツ振興課長

スポーツ振興課長。

スポーツから2件ございます。

まず1点目、第84回印旛郡市駅伝競走大会の結果でございます。お手元の資料をご覧くださいと思います。内容については下にコメントが書いてあるとおりで、結果につきましては次のページの成績表のとおりでございますので、ご覧くださいと思います。

もう一点でございますけれども、印西・WRC（ワールドレコードキャンプ）陸上教室の結果についてでございますが、こちらの内容につきましては、写真の下にコメントをつけておりますのでご一読いただければと思います。実績報告につきましても次のページに、参加いただいた人数ですとか、そういった成果として掲載してございますので、ご一読ください。

以上でございます。

佐藤委員長

何か質疑ございますでしょうか。よろしいですか。

各委員

なし

佐藤委員長

ほかにその他ございますでしょうか。

教育総務課長。

教育総務課長

それでは、次回の定例会のご案内を申し上げます。

1月15日木曜日になります。2時からこの場所で定例会を行う予定でございますので、よろしく願いいたします。時間につきましては3時からでございます。

以上でございます。

佐藤委員長

これで日程第6 その他を終わります。

(閉議の宣告)

佐藤委員長

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

(閉会の宣告)

佐藤委員長

これで、平成26年第12回印西市教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでございます。

(15時30分)

印西市教育委員会会議規則第31条の規定により、上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためここに署名する。

平成26年12月17日

委 員 長 佐 藤 め ぐ み

署 名 委 員 寺 田 充 良